

石川県信用保証協会 情報誌「ほレター」

Letter

VOL.
15
2024.12

Topics!

- ほレター INTERVIEW
「丸石資材株式会社」石井直樹様 高重幸様
- 令和6年度女性のための創業セミナーに申込殺到!
- 興能信用金庫さまととの交流会を開催
- 保証申込時のチェックリストを作成しました!

ほレター

INTERVIEW

頑張る
事業者を応援!

丸石資材株式会社 代表取締役社長

総務部長

興能信用金庫 珠洲支店

能登復興支援部 調査役

石井 直樹様

高 重幸様

宮下 真様

寺下 航様

珠洲市の「丸石資材」は所有する採石場で採取した岩石を、港湾工事などの資材として販売しています。利用した専門家派遣(その道のプロ派遣)は、2024年能登半島地震の影響で状況が一変したものの、石井社長は「当社の状況を理解して、地に足の付いた計画につなげてくれました」と感謝しています。同社で経理を担当する高総務部長と融資担当の興能信用金庫・宮下様も交えて、被災地での事業継続に専門家派遣が果たす役割をうかがいました。



寺下様

石井様

高様

宮下様



Letter INTERVIEW

災害後の事業継続を堅実な計画づくりで応援

▶ 専門家の指導で効率的な経営へ

貴社の事業内容を教えてください。



石井 私の父の代から約70年間、珠洲市の山中で岩石を採取し、製品として販売する採石業を手掛けてきました。近年は製品の大半を港湾工事の資材として出荷し、海中に沈めて防波堤などの土台とする「基礎捨石」に多く用いられています。

専門家派遣を利用したきっかけは?

高 大規模な公共工事の減少などが理由で、当社の売上は2000年頃から低下し、受注量に合わせて、会社の規模を縮小したところ、累積した借入金の返済が大きな負担になっていました。

宮下 当金庫は以前から融資の支援だけでなく事業計画の作成にも協力してきました。2017年から5年間の中期計画を作成する際に、信用保証協会の専門家派遣で、中小企業診断士の先生にアドバイスをいただいたところ、計画通り順調に進んだことから、続く2023年以降の計画づくりにも専門家のお力を借りることになりました。



▶ 地震後もめげずに事業再開

能登半島地震の事業への影響は?

高 当社は社屋や設備の一部は被災したものの、幸い人の被害はありませんでした。取引先は県外のお客様がほとんどであるため、製品の出荷に使う飯田港が緊急復旧した1月中旬からは事業再開に踏み切りました。

石井 能登各地で復旧工事が始まってからは、当社の採石場で採取した土砂を工事用の大型土のうの中身として使用する引き合いも増えました。

▶ 被災後の状況に寄り添った提案

地震を受けて、専門家派遣をどう活用しましたか?

石井 周辺の状況が落ち着いた4月から相談を再開しま

した。地震前とは会社を取り巻く環境が一変した中で、専門家は私たちの現状を細かく把握しながら、改めて最善の事業計画を検討してくれました。

高 協会から派遣された専門家は同じ珠洲市出身ということもあり、採石業の事業特性を理解して、当社の事情に寄り添った提案をいただける点に信頼感があります。おかげで、被災による損害や変化を踏まえながら、現実的で無理がなく、会社の身の丈に合った事業計画をまとめることができました。数ある助成金からどれを使えばいいかコーディネートしてくれたのも助かりました。

宮下 借入金の返済に当たっては、「復興かりかえ保証」制度が発表されたばかりでしたが、協会の担当者と専門家に相談しながら進めることができました。その場ですぐに相談できたことも、今回の専門家派遣におけるメリットでした。



▶ 復興を支える息の長い企業を目指す

今回の支援で得たことをどう生かしますか?

宮下 専門家には私たちにない知識や視点から、公的な助成金や保証制度も取り入れた計画づくりにご協力いただきました。丸石資材様の今後をサポートしながら、能登のほかのお客様においても、震災後の事業継続に向けて、専門家派遣をうまく活用したいと感じています。

高 今回の専門家派遣では被災した当社の負荷を減らす配慮があつたことに感謝しています。

石井 以前の事業計画では感覚で決めてきた部分も、要素を明確に数値化していただいたことで、根拠を持って経営方針を定められるようになりました。専門家からの提案を取り入れながら、能登の復興とともに、息の長い企業を目指します。



丸石資材株式会社

珠洲市宝立町鵜飼2字67番2号地
TEL:0768-84-1158 FAX:0768-84-1555

能登の石で
土木工事を
支えます!

